

目 次

コンピューター・シミュレーションが切り拓く天文学——星から宇宙の果てへ—— (9)	頁
自己重力多体系の進化——球状星団, 銀河集団化	牧野淳一郎・伊藤 誠 256
45m 電波望遠鏡でオリオン座を探る	立松健一・梅本智文・亀谷 収・平野尚美・砂田和良 261
系外銀河の水素分子輝線	川良公明 267
「JNLT 往復書簡シリーズ」 往信: JNLT への期待と要望——NRO の経験より——	赤羽賢司 273
復信: 「赤羽書簡」を読んで	274
天文学最前線.....降着円盤の温度・銀河内部速度場と光度・星生成領域 W75N の 2 つの赤外線源・シ	
ューメーカー-ホルト彗星 (1987z) の軌道進化・うんと青い光で見たら銀河は?・電波	
銀河 Cygnus A のホットスポット	276
学会だより	260
雑 報.....天文教育普及のための指導者講習会	279
お知らせ	279
訃 報	281
9月の天文暦	281
天文観測技術の最前線 (9) アレイ型 (1 次元 2 次元) 赤外線センサー	282

—表紙説明—

野辺山宇宙電波観測所の 45m 電波望遠鏡を用いて観測したオリオン座分子雲。左が ^{18}CO ($J=1-0$) 輝線, 右が CS ($J=1-0$) 輝線における電波強度 (ピークアンテナ温度) の分布を示す。疑似カラー表示を用いており, 紺, 青, 水色, 緑, 黄, 橙, 赤, 白となるにつれて, 電波強度が強くなっている。ここで示された分子雲の範囲は, 長さ約 1.5 度角 (13 pc) に相当する。

(p. 261 立松氏他記事参照)

地人書館の天文書●好評発売中

'91天体望遠鏡のすべて

『月刊天文』編集部編 B5判 定価1500円(〒260円)
最先端技術を駆使した新製品などメーカー推薦の名機38機種と, 280機種の望遠鏡・双眼鏡が勢揃い。いつもの「自機のお宝機」とともに, 今回は使って便利なディーラーオリジナルグッズを数多く紹介。いま一番新しい高画質天体ビデオ撮影システムを詳しく解説する。

PC-9801+PIAS・LA-500, 525による
パソコン画像処理入門

神保 徹著 定価2800円(〒310円)
著者自身が所有するパソコン画像処理システムの豊富な使用経験をもとに, PIAS社LA-500・525に内蔵されているハード, ソフト両面から画像処理の基本をわかりやすく実践的に解説したもので, 特に中盤以降では各種ファンクションの内容とそれぞれの関連性について述べ, システムのオペレーションにいたるまで説明した。

おまたせしました。重版出来!!
天体写真マニュアル

『月刊天文』編集部編 定価2060円(〒310円)
天体写真に向くカメラ, レンズ, フィルムなどを説明したあと固定撮影やガイド撮影, 各天体の写し方からDPEまで, ベテランが明かす天体写真テクニックとノウハウ。

(定価はいずれも税込)

〒162 東京都新宿区中町15 振替東京6-1532 ☎(235)4422

天文博物館

五島プラネタリウム

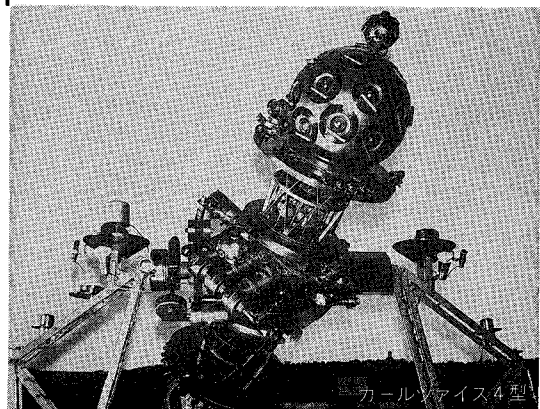
東京・渋谷・東急文化会館 8階
電話 (407) 7409

9月——芭蕉が見た星と月

10月——超新星・星のカタストロフィ

投影時間	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
平日	10.00	11.10	1.30	3.00	4.30	6.00
土日・祝日	10.30	12.00	1.30	3:00	4.30	6.00

- 平日 10.00 の回は団体に限ります。
- 休館日 毎週月曜日 (祝日のときは翌日休館)
- 料金 大人 700 円・小, 中学生 400 円・幼児 (4 才以上) 300 円



Carl Zeiss 4 型